



卓 話



ロータリーの友を読む

米山 昌英パスト会長

ロータリーの友を読んで、何か話をしなさい、という梶浦会長の方針ですので、少し時間を頂いて、お勤めを果させて頂きます。



11月号を読みました。真っ先に目に入ったのは、小田急電鉄の前社長北中 誠氏の「正法眼蔵」というコラムで、相変わらず好みのジャンルばかりが目に入りました。

今年度の私のお役目は、職業奉仕委員会の副を受けております。委員長は安田さんです。ですから10月号で特集が組まれた、「職業奉仕」について、若干お話を致します。

梶浦キャビネットが始って間もなく、職業奉仕委員会がありました。そのとき私は、ロータリーの職業奉仕を短い言葉で、端的に表現すれば、「君子財を愛す、これをとるに道あり」という言葉が一番判り易いのではないかと、ということを申し上げた。

この言葉を初めて知ったのは、住友二代総理事を務めた、伊庭貞剛氏の「幽翁」という書物であった。江戸時代の中期、禅宗の中興の祖、白隠禅師の無盡燈論の中に書かれた言葉であります。経営者は、すべからく人、もの、お金を大切にしなさい。しかもこれをとるには、人を騙したり、詐取したり、また浮利をもとめたりして馬鹿な金儲けをしてはいけません。人間として踏み行なわなければいけない天下の王道をしっかりと歩みながら商人として恥ずかしくない金儲けをすべきである。ましてや経営者たる者は、部下の仕合せを祈る、部下の家族の仕合せも祈る。この願いが職業奉仕の中核となる思想でなくてはならない。

その辺のことを、福沢諭吉先生も「右手にソロバ

ン、左手に儒教を」もって人生を歩みなさい、と後輩の塾生に商人としての心構えを諭して居られます。

言い換えれば、商人は、自らの倫理観を高め、自らの品格を形成し、自らの職業観を創って、従業員の幸せを考え、従業員の家族を幸福にし、その業界を初め、地域にも影響を与えて行くことが最も大切な眼目になる。

ロータリーには高い倫理観を持った素晴らしい仲間が大勢居る。その人たちに影響されながら自らの品格を高める努力をしていく。そのためには、例会が一週間に一回あるというのは誠に素晴らしいことです。しかも利害関係の薄い一業一人の仲間達が沢山居られるわけです。倫理観を養うには格好の好都合な場が常に望めば与えられているわけでありませぬ。

この一週間に一回の例会と業種による選別が、ロータリーの最もすぐれた特筆すべき理念であると思うのです。こんなに素晴らしいロータリアンに仕事で会うということは、とても難しい人達ばかりです。アポなしに週に一回会えるということは、ロータリアンの特権である。

素晴らしい仲間に来て自らの倫理観を高める、自らの人生観を変えていく、そして職場に帰って、その職場で自らの高めた倫理観を啓蒙し、活用していく、また、自らの業界に出て行き、自らの職業観をもって地域に良い影響を与えていく。そういう循環でなくてはならない。そしてまた新しい空気を吸うために例会に来て、自らの倫理観、品格を高める作業をしていく。この「良好な循環」によって更にステージをより高いところにもっていく。これがロータリーの職業奉仕の根本理念でなくてはならない。

一週間に一回の例会、一業種一人（今は違うが）という理念は、ロータリーの持つ職業奉仕の理念と表裏一体の理念で、コインの裏表のように感じるのですが、皆さんはどのようにお考えでしょうか。

「年次総会」

次年度役員理事の挨拶

酒井次年度幹事の進行で、次年度役員理事の方々の挨拶が行われました。



☆曾我次年度会長

次年度会長を仰せつかりました曾我です。宜しくお願い致します。去年の今頃、丁度ノミニーにご指名頂いてから一年間あっという間に過ぎてしまいました。間もなく本番ということで、一年間考える時間があったのですが、具体的な事は正直これから考えていこうと思っています。先程ご紹介頂きました役員、理事の方々に、弱い会長を支えて頂きたいとお願い申し上げたところご快諾頂き、まず一安心致しました。基本的には参加した人が楽しめるロータリーライフを目指す事を一貫して進めていく一方で、高い年会費を払っていらっしゃるのですから、会員の方々に積極的に参加をして頂く事を推進していきたいと思っております。この2つがうまく出来た時、出席出席と言わなくても出席率が上がるでしょうし、皆さんの協力体制の基に楽しいロータリー活動が出来ると考えています。来年7月より1年間、皆様のお力を借りて頑張りたいと思っております。

☆坂本次年度クラブ奉仕委員長

曾我次年度会長から突然にお願いされ、本当に驚きました。ですがロータリーの辞書には「お断り」という文字がないという事ですので、諸先輩方の指導を受け、何とか曾我次年度会長を支えて、皆様方の為に頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

☆関根次年度副会長

前回の例会で突然曾我次年度会長からお願いされ、迷う時間もなお引き受けしました。曾我次年度会長の方針に従って協力していきますので宜しくお願い致します。

☆武田次年度会計

今年度に引き続き会計を担当させていただきます。2年続

けて引き受けるという事に抵抗がありまして、その旨を曾我次年度会長に申し上げたところ、過去にもそういう事例があるから是非お願いしたいという事でした。先輩のお願いという事もありましてお断りできず、次年度もやらせて頂きますので、宜しくお願い致します。

☆小林次年度SAA委員長

SAAを担当させていただきます小林です。私もロータリーに入り10年程経ちますがSAAがどういうものかもう一度勉強し直し、歴代委員長がやってきた事を守りながら、明るく微笑ましいSAAを務めさせていただきます。皆さんご協力をお願いします。

☆向山次年度社会奉仕委員長

社会奉仕を承った向山です。社会奉仕委員会は野球教室等、年々行事が積み重なり、良い活動実績を残しております。ですから今迄の事を大切にする一方で、要綱を改めて読みましたところ、地域のニーズも汲んで活動をということも書いてありましたので、そういった事も探りながら、新キャビネットで新しい事も築いて行きたいと思っております。ご協力を宜しくお願い致します。

☆廣本次年度職業奉仕委員長

なかなか来年の事を考えている気持ち的な余裕がないというのが素直な感想です。職業奉仕委員長という事で、前任者の気持ちや実績を引き継ぎながら自分なりの新しい物を作り上げて行きたいと思っております。先程米山会員がおっしゃったことを心に留めて活動したいと思っております。

☆安田次年度国際奉仕委員長

国際奉仕は今年度、梶浦会長、鯉江国際奉仕委員長が特に力を入れられてやってこられた活動ですので、来年も引き続きその精神を踏まえてやって行くつもりです。来年は米山奨学生や、青少年交換派遣学生で帰ってくる方がいますが、特別な公の活動はないようですので、四谷独自の活動に専念して国際奉仕の活動をしたいと思っております。

☆佐藤次年度親睦活動委員長

まだ入会2年目で分からない事が沢山ありますが、前親睦活動委員長の藤原会員、現委員長の廣本会員には側で良く勉強をさせて頂いているので、皆さんに負けないよう頑張りたいと思っております。

☆鯉江次年度プログラム委員長

プログラムの楽しさ、充実度は皆さんの力にかかっています。次年度も今期の坂本委員長の色々な工夫を継承

しながら、皆さんにお願いする事もあると思いますので宜しくお願いします。

☆麻生次年度会報（情報IT）委員長

曾我次年度会長から電話を頂き、貴方も何かやるようにとの事だったのですが、今年も役員をしていたので「解放」してくださいよ、と申し上げたところ、では「会報」だという事で決定してしまいました。一生懸命やりますので宜しくお願いします。

☆大塚次年度会員増強委員長
欠席

☆酒井次年度幹事

最後に次年度幹事から一言申し上げます。非常に不慣れで、緊張が納まらないのですが、本日ご紹介して下さる役員・理事の方々を見ますと、非常に頼りがいのある方ばかりだと思います。私にはもったいない役かもしれませんが、幹事経験者の方も何人もいらっしゃるのです、色々教えて頂きながらサポート役を一生懸命させて頂き、会を盛り上げられればと思っています。